

わかやま母親通信

第77号 2019年10月1日発行

発行 和歌山県母親大会連絡会 事務局 和歌山市小松原通3の20 和歌山県教育会館内
和教組 TEL073-423-2261 FAX073-436-3243 母連メール:w_haharen@wkn.or.jp

生命を生み出す母親は
生命を育て
生命を守ることをのぞみます

第65回日本母親大会 in 静岡

HP 和歌山県母親大会

～8月24日 分科会参加者の感想から②～

21 女性と人権—ジェンダー平等 DV セクハラ・パワハラ #Me Too

有田 新婦人 T. I.



私の要求にぴったりの分科会で、初めてお会いした助言者の問題提起も期待通り、「女性の権利で与えられたものは1つもない！闘って勝ち取ったものです。」と熱を帯び、まとめでは、「初めてどっぷり母親大会に参加したが、とても楽しかった。」と表情を崩されていました。司会は、婦団連会長で、なごやかに大らかに話しやすい雰囲気をつくって、さすがでした。

参加者の半数を超える80人以上の発言があったのでは？ 新婚2週間目の人とか、子育て真っ最中の若い方が次々と発言され、「夫の長時間労働で、子育てに参加してもらえない」現実も訴えられ、私の若い頃より一段と厳しい社会状況を確認し合ったところへ、助言者が、「みなさん、ダイニングの椅子は、どこに座っていますか？ “主婦”の椅子はここと決める法はないのですよ」と助言され、「夫」をどう呼ぶかとか、家事労働の見方、男女の社会的分業とはとか、ドイツ等との隔たりを実感してきた方の発言とか、娘婿はよく家事分担し嬉しいとか、こんな風に家庭や身の回りの日常から男女平等、女性の人権を見直し、実現していく、古くて新しい課題が、日本ではまだまだ遅れていると深め合いました。

何しろ、日本の男女平等順位は世界110位(149カ国中)。それも女性の長寿のおかげがあるんだそうです。1位はフィンランド、北欧。ニュージーランドで議長が、赤ちゃんを抱っこしてミルクを飲ませているのに全員が拍手。日本は民主団体でも女性役員が少なすぎるとの発言も。また、人権弁護士でも、ジェンダー平等の学習が足りない、まして判事や検事は！そして、日本の法律全体がほとんど女性に対して差別的だとの助言も。

フラワーデモが始められ、日本の「#Me too 運動」も新展開してきたと評価され、「フラワーデモへ行きましょう。」と呼びかけられました。そこでは、参加者が一人一人マイクを持って、自らの差別体験等を語り合える場が温かいそうです。笑いあり、涙もありのとても良い分科会になりました。

16 カジノ導入は誰のため—子ども・地域・経済への影響

那賀 新婦人 M. M.

カジノは家庭崩壊、人間崩壊になるのに自治体が力を入れて作ろうとしているのが、とても信じられない。和歌山では着々と計画が進められている。困ります。

とても危険なのは、自分がギャンブルしないから関係ないという考えが一番危険ということでした。パチンコと比べものにならないほどのものだそうです。

24 いまこそくらしに憲法にいかそう

那賀 新婦人 N. S.

2年前の改憲発言以来、自民党は改憲勢力3分の2という状況に乗り、改憲を強行しようとしてきたが、市民と野党の頑張りで改憲発議はおろか、改憲案の憲法審査会への提示すらさせていない。参議院選挙で3分の2維持に失敗。しかし、安倍首相はあきらめていない。野党を取り込み、3分の2の回復を狙い、あらゆる形で改憲強行を図ろうとしている。

トランプ政権はイランと軍事対決を図るべく有志連合を呼びかけ、日本に参加の圧力を加えている。アメリカの戦争への武力による加担こそ安保法(戦争法)の目的であり、安倍9条改憲の狙い。辺野古新基地建設、イージスアショア配備強行もその先取り。

市民と野党の共闘で切り開いた政治状況を前に進めることの重要性、3000万人署名の意義などお話を聞き、9条改憲を許してはならないと決意を新たにしました。会場から「〇〇県です。野党統一で勝利しました」の発言が相次ぎ、大きな拍手が起こった。



那賀 新婦人 C. N.

昨年に引き続き、今年も憲法に関わる分科会に参加しました。なぜなら、3000万署名活動で、9条の大切さ、改憲の危険性を伝えなければならないからです。



首相一流のウソに惑わされないように、学んできた知識と情報を一人でも多くの人に伝達したいと思います。

伊都 退教協 E. U.

助言者は、「今回の参議院選挙で野党共闘の成果を受けて、今後の私たちの運動の方向に明るい兆しを見せてくれ、改憲に反対する国民世論を形成拡大する上で大きな役割を果たした」と評価されました。しかし、改憲をあきらめていない安倍首相の動向を今後もしっかり見つめていかなければならない状況を考え、「改憲NO!」の意志表示は続けていかねば…。また「アメリカの圧力による有志連合への参加、自衛隊の海外派兵など、市民の厳しい監視が益々必要になってくる」との納得できるお話でした。

フロア発言では、各地の9条の会、新婦人、教師の会、その他、草の根の会などの活発な発言もあり、種々学ばせていただきました。

6 子どもの心によりそって—引きこもり 不登校・登校拒否

伊都 母連 S. S.

今の学校や社会が、ひどく管理やしめつけが厳しく生きづらいものになっているか、たくさんの発言から分かりました。「ひきこもりの青年たちは、苦しみを抱えつつ、助けを求めて引きこもっているのもあって、反社会的なのではなく非社会的なのであり、他者を傷つけることはしない。社会の目が変わることが必要である」と、助言者に教えていただきました。

ひきこもりの青年の支援をされている方が、「自分の生を生きる」ことが大切で、共にそれを探っていると話されたのが、印象的でした。

海草 新婦人 M. Y.

先生方やお母さんたちの生の声が聞けました。私には、心からの叫びに聞こえました。助言者の的確なご助言に、納得することができました。今日の学びを今の職場にどう伝えるかが、私の課題です。



海草 教組 S. H.

助言者のお話を聞いたことはもちろん、不登校、ひきこもりに関わる親、学校、支援する団体、不登校の原因にもなるいじめの被害者・加害者といった様々な立場の方からの経験や意見が聞いたことは本当に良かった。発言する人も聞く人も心が痛く、その場にいるのが辛く思えるほどの涙の討論だった。

始まりに、助言者が、不登校、ひきこもりはどのような環境に生まれ、育ってきたかを理解することが大事とおっしゃったが、参加者の話を聞くと、本当にその背景は様々で、また複雑に絡み合っていて、一様に解決できるものではないということが、良く分かった。命がけで助けを求めている子どもの思いを受け止め、寄り添うことが大事だと、改めて感じさせられた。

25 歴史の真実を学ぼう—戦争の被害と加害 俳人金子兜太の戦争体験

西牟婁 教組 K. T.

戦争の被害・加害の歴史の真実を学ぶこと、さらに、伝えることの大切さに、改めて思い至りました。日韓の関係も、その歴史を紐解き、戦争責任をどう扱ってきたか、メディアがそこに触れないどころか、不信をかき立て世論を扇動する役割を果たしているようで、心配です。



18 リニア新幹線はほんとに必要？－自然破壊 水 電磁波

有田 新婦人 A. Y.

自然破壊につながるリニア建設だと思っていました。東京―大阪間を1時間以内で走る夢の超特急という触れ込みでしたが、たくさんの問題を抱えていました。

- ①水の問題では、南アルプスの端にトンネルを掘るため、そこが水源になっている下流域のたくさんの町や村への生活全般への影響が出る。
- ②工事の残土処理では、貴重な森林や植物、動物の住んでいるところを壊して、平らにして残土を積み上げるという処理の仕方、しかも、ウラン鉱床からの残土。
- ③電磁波の影響について、何も資料が示されていない。
- ④住民立ち退きの問題。
- ⑤難工事のため、次々お金を国が支出している。

など、あまりにも多くの問題が山積していることを教えてもらいましたが、なぜつくるのか？という疑問に、原発に替わって国外に売れるものをつくって、実証したいからという話でした。多くの住民などのことは、どうでもいいのか？一部の人の利益だけを目指していることがよく分かりました。

28 映画「ザ・思いやり II」を観て税金の使われ方を考える

日高 新婦人 H. O.

リラン バクレーという映画監督を知りませんでした。米軍への思いやり予算について、事実の映像をコミカルに編集しており、楽しく考えさせる映画でした。

和歌山でも、上映会ができるといいなあと思いました。

有田 新婦人 I. G.

日本に住むアメリカ人 バクレー監督が作ったドキュメンタリー『ザ・思いやり』のシリーズIIを観た。アメリカは、ずっと戦争している。戦争ができる仕組みがあり、米国民は、そこにすぎ込まれる予算がどうなっているのか、知らされていない。日本は、戦争できる仕組みを改憲することで確立しようとしている。米軍に1兆円近くも思いやるよりも、被災地、弱者、私たちが思いやってほしい。

シリアスなドキュメンタリーだから、短くコミカルに場面が次々と変わっていく。松本ヒロさんが出てきて、笑いながら見る事ができた。

戦争の財源は、消費税と国債だと知りました。消費税は社会保障拡充のためというのほうそで、この5年間で社会保障費は3兆4500億円も減らされています。国保料も増え介護保険料は2倍に、等々…。増税を繰り返し、次々と新しい税をつくっています。

税金は富裕層や大企業に応分の負担をさせ、生活費に課税しない税制に変えてほしいです。そして、消費税10%は中止し、消費税を廃止すべきです。軍事費を削減し、教育費を無償にし、給付型奨学金をつくらなくてはと、つくづく思いました。

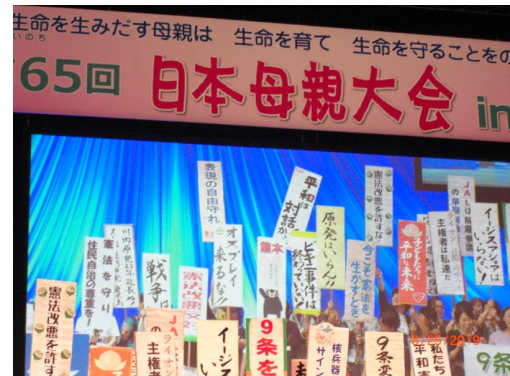
～8月25日 全体会参加者の感想から②～

伊都 退教協 E. U.

65年前のビキニ水爆実験で死の灰を浴びた久保山愛吉さんのニュースは、当時大きく取り上げられ世の中が大騒ぎになったことはよく覚えています。

核は人類を破滅させると認識したにもかかわらず核兵器はつくられ続け、まさに人類の、いや地球の破滅にもつながると、誰もが知っています。ようやく核に反対する人たちの粘り強い取り組みの中から、2017年国連で「核兵器禁止条約」が採択しましたが、核を保有する国や、日本は被爆国でありながら、アメリカに付度しているせいか、署名も批准もしていません。

現在のこのような世界の現状を知って、日本ももう一度、草の根の運動で一人一人の署名を結集することから始めなければなりません。全国大会に参加させてもらおうと、現在の社会の矛盾、問題点が明らかにされ、私たちの進む方向が示される場面が多いです。



和歌山市 年金者組合 T. I.

2日目の全体会。「ビキニ被災から65年—核兵器のない平和な未来を」という冨田宏治さんの講演を聴きました。核兵器は「悪魔の兵器」であり、広島・長崎は非人道性の実相であると話されました。10フィート運動でのフィルムを観た被災者たちは、「こんなものではなかった」と感想を漏らしたと聞いて驚きました。フィルムからは、匂いも熱さも暑さも伝わってこないということだったのです。

被爆者は、“無用の苦痛”を強いられている、普通の人たちのお祝い事は苦しみの時なのだ。結婚してもいいのか、出産してもいいかと、自分のせいだと自分を責める…。

核兵器禁止から廃絶へ！核兵器保有国は、“ならず者”だと断言され、核抑止力というのは幻想に過ぎない、さらに一歩二歩前進したい、と締めくくられました。

今年も素晴らしい講演を聴き、素晴らしい朗読劇（ビキニ被災者久保山愛吉さんのことを劇にしていた）を観て、大満足な大会でした。



日高 K. N. (初参加)

初めての参加でしたが、有意義な時間をもたせていただきました。プチ旅行(?)のような感じで、楽しく過ごすこともできました。

講師先生のお話がとても分かりやすく、引き込まれる場面が多々あり、(来年の世界的な運動の発展したようすなど) 続きを聞いてみたいという思いでの終了でした。

那賀 新婦人 J. S.

ビキニ環礁の水爆実験で被災した久保山愛吉さんの、「原水爆の犠牲は、私を最後にしてほしい」という最期の言葉を奥さんが受け止め、日本母親大会と原水禁大会が開かれるようになったという話が一番印象的でした。

* 以上4名は、グランシップ大ホール・海へ参加

西牟婁 教組 K. T.

2会場に分かれてどうなるのかと思いましたが、それぞれのテーマが今日的で、明確に運営していて、良かったと思います。人の流れも、思ったよりもスムーズでした。

私が参加した会場での講演で、ジェンダーフリーの今日的意義と日本の課題がよくわかりました。

オープニングのハレルヤ君の津軽三味線は、若々しく潑瀾とした演奏で素晴らしかったです。昼休みには、物産展をゆっくり巡れる工夫をしてくれていたの、ゆっくり見られました。

* グランシップ中ホール・大地への参加



さまざまなご意見・ご要望より

- ・交通 東海道本線沿いだったので、便利で行きやすかった。
- ・分科会・会場 グランシップは駅からそのまま行けたし、あざれあも便利なところにあった。焼津会場はバスへの乗り換えもあって少し遠かったが、母親大会始まりの地だと。
- ・ホテル・朝食 静岡駅の近くで便利だった。でも、夕食はどの店も満員で。東横インでは、朝食がすごい行列になったが分散する方法はなかったのかな。ドルフ静岡は、子供連れだったが、親切だった。三交イン静岡は、分科会場から近く、部屋もきれいだった。夕食は、おでん横丁などがあり良かったです。
- ・全体会場 駅から近く、非常に便利な所にあった。素晴らしい会場だったし、車で行ったが駐車場も広かった。ホールは前の席との間に余裕があって、荷物も起きやすかった。広くて、芝生で物産展をしていて、買いやすかった。天気でもよかった。
(別の意見) 物産展が外の広場で出入りはしやすかったが、暑くてゆっくり見て回る気がしなかった。 涼しい屋内だったら、買い物をしたかったけれど…。
- ・和歌山県の参加者とは、あまり出会えなかったなあ。
- ・今年は、全体会(大ホール)の席が中央の前で、よりよく感じさせていただきました。
- * 「もし、和歌山県で日本大会を開催するとなったら」の観点で、チェックしていただいたご意見もいろいろお寄せいただきました。参考にさせていただきます。

さまざまなご感想、ご意見をありがとうございました。